

徳山工業高等専門学校教育目標・DP・CP 一覧

令和8年度

教育目標	JABEE基準	DP(本科)	CP 情報電子工学科	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科1年	専攻科2年	CP 情報電子工学専攻	DP(専攻科)
世界に通用する実践力のある開発型技術者をめ ず人材の育成		本科では、「情報技術をベースに、それぞれ得意とする 複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者」 を育成するため、所定の年限を鑑み、以下に示す能力・ 技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結びつ ける能力を備え、各学科が規定する単位を修得したも のに卒業を認定します。	本科では、ディプロマポリシーにて掲げた能力を育成す るために、以下に示す科目群を用意しており、具体的 な科目群をまとめる次のようになります。	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期	専攻科では、「情報技術をベースに、それぞれ得意とする 複合技術を生かして、設計・開発を行う実業をもつ技 術者」を育成するため、所定の年限を鑑み、以下に示す 能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結 びつける能力を備え、各専攻が規定する単位を修得した ものに修了を認定します。	専攻科では、「情報技術をベースに、それぞれ得意とする 複合技術を生かして、設計・開発を行う実業をもつ技 術者」を育成するため、所定の年限を鑑み、以下に示す 能力・技能に加え、複合分野にわたる知識を有機的に結 びつける能力を備え、各専攻が規定する単位を修得した ものに修了を認定します。
(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につ けること	(c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれら を応用する能力	1.基本的能力 技術的課題の解決に必要な数学、自然科学、人文・社会 科学の知識・能力を修得している	1. 基本的能力 豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会 科学、芸術などに関する科目を用意しています。また、 工学の専門知識や技術の修得に必要な学問的基礎を 学ぶことを目的として、数学、自然科学などに関する科 目群を教育課程に用意しています。	数学IA 数学IB	数学IIA 数学IIB	数学IIIA 数学IIIB 確率	微分積分学I 微分積分学II 応用解析学概論 ベクトル解析 統計学 フーリエ・ラプラス変換		工学解析 応用統計学 情報論物理学 物理学 一般化学	Engineering Mathematics	1. 基本的能力 豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会 科学などに関する科目を用意しています。また、より高度 な工学の専門知識や技術の修得を目的として、数学、自 然科学などに関する科目群を教育課程に用意していま す。	1. 基本的能力 豊かな教養を身につけることを目的として人文・社会 科学などに関する科目を用意しています。また、より高度 な工学の専門知識や技術の修得を目的として、数学、自 然科学などに関する科目群を教育課程に用意していま す。
(A2)国際理解を深め、技術者としての倫理観とコ ミュニケーション能力を養うこと	(f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニ ケーション能力			化学基礎 科学と人間生活 国語ⅠA 国語ⅠB 歴史 政治・経済	物理I 化学II 歴史 芸術	物理II	日本語学・日本文学 人文社会特講	歴史学 人文社会特講	日本語表現法			
(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・ 創造性を磨き養うこと	(d-4) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を解決し、適切に対応 する基礎的な能力											
(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につ けること	(d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれら を応用する能力 (d-1) 基礎工学5科目群	2.専門的能力 各学科の専門分野及び複合分野にわたる知識・能力を 修得している。	2. 専門的能力 情報理論、コンピュータアーキテクチャ、プログラミング などの情報工学および電磁気学、アナログ回路、ディ ジタル回路などの電気・電子工学の科目群、アルゴリズム とデータ構造などの実践的なプログラミング関連科目 群、電子工学実験、情報システム実験、電子通信シス テム実験などの実技科目群を用意しています。	基礎電気電子回路	電気電子回路	アナログ回路 ディジタル回路 計測工学	情報理論 コンピュータアーキテクチャ 電磁気学 応用物理 情報システムと技術者倫理	制御工学 システム数理工学 フィールドバック制御理論	システム制御工学 電気電子材料 半導体電子工学		2. 専門的能力 メディア信号処理、半導体電子工学などの応用・学際 的科目群及び情報電子工学専攻総合実験などの実技科目 群を用意しています。	2.専門的能力 各専攻の専門分野及び複合分野にわたる高度な知識・ 能力を修得している。
(B1) 情報技術をベースに、実体験を通して表現 力を身につけること	(c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれら を応用する能力 (d-2) いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂 行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力 (i) チームで仕事をするための能力			コンピュータ演習 コンピュータの基礎知識 基礎プログラミングⅠ 基礎プログラミングⅡ 基礎プログラミング演習	プログラミング	システムプログラミングⅠ システムプログラミングⅡ	電子工学実験 コンピュータシステム実験	電子情報表現システム実験	経営工学			
(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつ ける設計能力を身につけること	(d-1) 専門工学の知識と能力			基礎コンピュータ工学	コンピュータ工学	コンピュータシステム概論	データベース ディジタル回路応用 情報通信工学	知的情報処理 論理設計 集積回路設計 ネットワークアーキテクチャ オプティカル通信/コネクティング	システム計測工学 分散システム概論 コンピュータ構成学 光情報処理 深層学習応用 メディア信号処理 通信ネットワーク工学			
(B2) 自主性と自立性を養うこと	(g) 自主的、継続的に学習する能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	3.汎用的技能 技術的課題を解決する技術者として必要なコミュニ ケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、 課題発見、論理的思考などの技能を身に付けている。	3. 汎用的技能 創造・演習・創造製作、卒業研究、学科学年縦横断型の活 動などの、汎用的技能を身につけるための実技科目群 や活動を用意しています。	課題発見解決プロジェクトⅠ	課題発見解決プロジェクトⅡ		ソフトウェア工学 工学セミナー	卒業研究			3. 汎用的技能 情報電子工学専攻総合実験や情報電子工学専攻総合演 習、応用研究や特別研究などの、汎用的技能を身につけ るための実技科目群や活動を用意しています。	3. 汎用的技能 設計・開発を行う技術者として必要な高度なコミュニ ケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、 課題発見、論理的思考などの技能を身に付けている。
(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつ ける設計能力を身につけること	(d-3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を 探求し、組み立て、解決する能力 (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するた めのデザイン能力 (g) 自主的、継続的に学習する能力 (i) チームで仕事をするための能力	4.態度・志向性(人間力) 技術的課題を解決する技術者として必要な主体性、自 己管理能力、責任感、チームワーク力、リーダーシップ、 未来志向型キャリアデザインなどの能力を身に付けて いる。	4. 態度・志向性(人間力) 創造・演習・創造製作、卒業研究、体育などとともに、学 科学年縦横断型の活動、キャリア教育支援プログラム、 課外活動など、態度・志向性(人間力)を育成するための 科目群や学生の自発的参加型の活動を用意していま す。	課題発見解決プロジェクトⅠ	課題発見解決プロジェクトⅡ		工学セミナー 創造演習	創造製作				
(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・ 創造性を磨き養うこと	(d-4) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を解決し、適切に対応 する基礎的な能力 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力						校外実習1 校外実習2		インターンシップ			
(B2) 自主性と自立性を養うこと	(g) 自主的、継続的に学習する能力 (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	5.創造的思考力 技術的課題を解決する技術者として必要な創造能力や エンジニアリングデザイン能力などの思考力を修得して いる。	5. 創造的思考力 創造・演習・創造製作、卒業研究、学科学年縦横断型の活 動などの、創造的思考力を育成するための課題解決能 力・開発力の育成に関する科目群や活動を用意してい ます。	課題発見解決プロジェクトⅠ	課題発見解決プロジェクトⅡ		工学セミナー	卒業研究				
(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつ ける設計能力を身につけること	(d-3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を 探求し、組み立て、解決する能力 (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するた めのデザイン能力 (g) 自主的、継続的に学習する能力 (i) チームで仕事をするための能力						特別講義		産業論 経営管理 応用研究			
(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・ 創造性を磨き養うこと	(d-3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を 探求し、組み立て、解決する能力 (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するた めのデザイン能力											
(A2)国際理解を深め、技術者としての倫理観とコ ミュニケーション能力を養うこと	(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	6.異文化対応力 技術的課題を解決する技術者としてグローバルな視点 で異文化に対応するための教養・感性を修得している。	6. 異文化対応力 技術者としての異文化対応能力を身につけることを目 的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や 国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意してい ます。	基礎英語R 基礎英語W	総合英語ⅠR 総合英語ⅠW 英会話	総合英語ⅡR 総合英語ⅡW 英会話	総合英語演習Ⅰ 英会話 中国文学 中国語 ドイツ語	英語特別演習 総合英語演習Ⅱ 情報電子工学専攻英語講読	総合英語 英会話 科学英語表現法 国際比較文化論		6. 異文化対応力 技術者としての異文化対応能力を身につけることを目 的として、英語、中国語、ドイツ語などの外国語科目や 国内研修・海外研修・語学研修プログラムを用意してい ます。	6.異文化対応力 技術者としてのグローバルな視点で自らの技術を公衆の 安全、健康、福利を優先して活用するための倫理観を身 につけることを目的として技術者の倫理や安全工学概 論などの科目を用意しています。
(A2)国際理解を深め、技術者としての倫理観とコ ミュニケーション能力を養うこと	(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対 する貢献と責任に関する理解	7.倫理的判断力 技術的課題を解決する技術者として公衆の安全、健 康、福利を優先して自らの技術を倫理的に活用するた めの知識・能力を修得している。	7. 倫理的判断力 技術者としてグロー バルな視点で自らの技術を公衆の 安全、健康、福利を優先して活用するた めの倫理観を身につけることを目的と して倫理、哲学、技術者倫理などの 科目を用意しています。		倫理	哲学	情報システムと技術者倫理 心理学 心理学		安全工学概論 技術者の倫理		7. 倫理的判断力 技術者としてグロー バルな視点で自らの技術を公衆の 安全、健康、福利を優先して活用するた めの倫理観を身につけることを目的と して技術者の倫理や安全工学概 論などの科目を用意しています。	7.倫理的判断力 技術者としてグロー バルな視点で自らの技術を公衆の 安全、健康、福利を優先して活用するた めの倫理観を身につけることを目的と して技術者の倫理や安全工学概 論などの科目を用意しています。